

音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	音更町総合計画審議会 経済部会（第3回）
開催日時	平成27年8月26日（水） 午後7時から午後8時40分
開催場所	音更町役場2階 第3委員会室
委員出席者	畠部会長、土田部会長代理、勝野委員、木村委員、坂井委員、新谷委員、鈴木委員、辰尾委員、谷内委員、林委員
事務局出席者	津本経済部長、福地農政課長、井原商工観光課長、重堂産業連携課長、山本土地改良課長、加藤農業委員会事務局長、傳法企画財政部長、西岡企画調整係長、清水企画調整係主任
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会長あいさつ 2 会議の進行等について 3 議件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本計画修正案について (2) 議員協議会での意見等について (3) 音更町人口ビジョンの考え方について 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・次回審議会の開催日程について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画見直しシート（修正後） ・総合計画審議会専門部会での意見等対応調書（経済部会） ・議員協議会での意見等対応調書（経済部会） ・音更町人口ビジョンの考え方 ・人口ビジョン・総合戦略の構成イメージ
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>■基本計画修正案について</p> <p>※意見等特になし</p> <p>■議員協議会での意見等について</p> <p>（林業） 委員：このことのみを総合計画に具体的に書いてしまうと、他のことについても触れなければいけないと思うし、森林認証制度の記載があるので、特別この問題について触れる必要はないと思う。</p> <p>（商業） 委員：空き店舗の数というのは年々増えているのか、増えていないのか。</p> <p>委員：空き店舗は、町の施策の中で利用者もいるし、増えてはいないと思うので、空洞化は進んでいないと思う。</p> <p>（産業連携） 委員：グリーンツーリズムの定義は。</p> <p>事務局：グリーンツーリズムの定義はものすごく広く、一概にこれと定義づけることは難しい。農業体験や農家民泊をはじめ、食と農に関係する講演会や料理講習会もグリーンツーリズムの一環ということができると思う。先日開催された麦感祭も、一般の方と農業者が畑で交流を持つということでグリーンツーリズムと言えらると思う。今後もいろいろな広がりを期待できるのではないかと考えており、すそ野は広いが、音更町ならではのものを積極的に推進していきたいと考えている。</p>

委員：「目標指標」の「新たな特産品などの研究開発支援数」で、中間数値が平成23年度から26年度の平均で、ここだけ小数というのは分かりにくいのでは。

事務局：「平均」という表現は改め、単年度の数字にするか累計値とするかで検討したい。

■音更町人口ビジョンの考え方について

委員：「(3)めざすべき人口減少対策の方向」で①から③と記載があり、②に「Uターン人口増やし」という表現があるが、③で「Iターン」という表現を使ったほうがいいのでは。

事務局：Uターン、Jターン、Iターン、というような表現があるが、総合戦略全体の中での人口ビジョンの位置付けがあり、これらの表現は、総合戦略に含めることで検討したい。

委員：人口減少対策というよりも、人口増加対策として前向きな方向で目指すべきではないか。IT産業など新しい産業の育成、そういうものが必要となってくるのではないのか

事務局：人口ビジョンは、2060年に予想される人口減少を、いかに最小限に食い止めるかという考え方で、総合戦略においていかに増加させるかという方法を検討していかなければならないと思う。全国的な人口減少は、音更町においても例外なく予想されるので、どれだけ歯止めをかけていくかということになる。総合計画は48,000人を目標として、これは変えずに進めていく。ただ、人口ビジョンでは、46,000人を推計値としている。少なくとも、この人口ビジョンはクリアしなくてはいけないということになる。

委員：町推計の考え方だが、2060年で社人研との差があるが、これは、国の目標なり推計に合わせると、このような町推計になるということではよろしいか。

事務局：2060年に1億人を保とうとする国の考え方に沿う形で、人口ビジョンを作成しており、北海道も同じような考え方で推計している。

※次回専門部会は9月下旬、日程は改めて調整するものとした。